

# ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

## 一般質問

高橋 義詔 議員



**問** 遠軽町が管理する体育・文化施設は、合併後5年を経過した現在でも、旧町村の施設は各地域で利用申請をしなければなりません。また、予約状況も電話で確認か申請場所での閲覧しか方法がありません。

そこで提案ですが、各施設の利用予約状況をインターネット上で確認、予約できるシステムの構築をする考えはありませんか。

**教育長** 教育委員会の管理する体育・社会教育施設につきましては4地域ごとに日常の管理を行っており、総合体育館、社会教育課、各教育セン

### 仮) 遠軽町体育施設予約システム

利用施設を

クリック

利用状況を確認して

予約画面に

進んでください

#### ○遠軽地域

・総合体育館 ・豊里体育館 ・東体育館  
・コミュニティセンター ・武道館

#### ○生田原地域

・総合体育館

#### ○白滝地域

・総合体育館

#### ○丸瀬布地域

・総合体育館

ターにて予約状況を確認した上で使用手続きを行っています。

遠軽地域の各体育館につきましては利用団体も多いことや、継続的な活動に配慮した利用調整をしながら多くの町民に利

## 答

### 今後の検討課題とします

## 問

### 施設予約の効率化を

用いただけるよう努めています。インターネット予約システムにつきましては、他の公共施設にも関わります。また、便利になる一方、システム利用者などの程度見込まれるのかによつて費用対効果が問われますし、新たなトラブルも懸念されます。現在の対面による受付システムは申請時に様々な情報交換や継続利用に配慮することができ、これまでも問題なく運営しています。

従いましてシステムの導入は考えていませんが、ネット時代に対応したシステム研究という意味では今後の検討課題とします。

## 問

老朽化した

歩道橋の対応は

## 答

西町跨線橋

解体撤去へ

## 問

西町駐車場に架けられている2本の歩道橋は、かなりの老朽化が進んでおり通路部分には穴もあいており、危険だと思いますが今後の対応を伺います。

## 町長

ご指摘の歩道橋は、昭和40年代の国鉄時代に貨物列車の入れ替え作業等で長時間遮断されることの緩和策、また、安全な歩行空間の確保のために設置されたものです。

岩見通り南3丁目に架かる西町跨線橋については架設から40年が経過し、



老朽化が進んでいる西町跨線橋

歩道部分のサビによる腐食、橋脚コンクリートの亀裂が見受けられ、これまでも補修等に対応してきましたが、抜本的な改善には至っていません。

平成21年度に野上通りの踏切が改善されたことからその役割を終えたと判断し、解体撤去に向けて地域自治会等の理解を得ながら関係機関と協議します。

また、神社通跨線橋に関しましては、西町駐車場から宮前地区、市街地地区へ通じる唯一の歩道施設として利用されており、これまでも修繕等で維持管理してきました。

今後とも定期管理を行いながら歩行者の安全確保を図っていきます。

# ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

## 一般質問

奥田 稔 議員



**問**

地球温暖化、大型台風などの被害が発生し、森林の持つ公益的機能の発揮と材価安定のためなど、森林認証を取得する団体が増えている。

町としても3500haの森林を持っており、森林管理協議会（FSC）の認証を取得する考えがあるかをお聞きたい。

**答**

森林認証は、森林の持続可能な経営、適正に管理された木材に認証ラベルを付すことにより適法伐採を防止し、森林の保護・保全を進める制度で、国際的に通用する認証です。

**問**

森林認証の取得の考えは

**答**

民有林も含め、さらに検討を進めたい

しかし、日本の人工林比率が高いなどで、日本の実情に応じた独自の認証制度（SGEC）がある。

と考えます。

**問**

四国の林業主体の町では、FSCの認証などを受けて、町・森林組合・工務店が連携しブランド材として取り組んでいます。

お金はかかるが、町内の森林経営者と一体となり、オホーツクから出る材がブランド化するなど将来展望を持って考えるべきだと思いますが。

**答**

私の町の産業構造もありますし、森林組合が二町と継っていることもあるので、引き続き情報を共有し考えてまいります。

**問**

町有林材を公共施設などに活用を

**答**

地元材の活用は同感

**問**

役場庁舎も古く建替の時期がいずれ来るし、文化センター問題もある。

町有材で庁舎を新築した町もあります。

脱コンクリートを意識的に行うため、公共施設は地元材を使用しPRが必要と考えますが。

**答**

町有林の活用は、森林の持つ水資源のかん養・レクリエーションの利用など公益的機能を発揮するため毎年整備を行って来ています。

また、木材の利用促進の法律も施行され、趣旨を踏まえ検討します。地元材の活用は同感で、風倒木を利用したテーブル、積木などに加工し販売も行っています。

**問**

新エネルギービジョンで木質バイオマスの利用となっているが、ペレット用のストーブの値段が高い、一定の補助を出す考えがありますか。

**企画課長**

ペレットストーブは木楽館・木芸館で導入しています。ペレット・チップボイラーについては環境に良く、さらに詰めて検討します。



橋原町森林組合の認証材置場



地場産材を使用した高知県橋原町庁舎

## ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

## 一般質問

山田 和夫 議員



**問** 本町も、合併から

五年が経過したいま、白滝・丸瀬布・生田原地域は人口減少が続いています。

特に、白滝地域は人口一千人を割り込み、過疎化が急速に進んでいます。

過疎化に歯止めをかけるためには、白滝・丸瀬布・生田原地域が、それぞれの地域の特徴を生かした地域振興策を創り出す施策の推進が必要です。本町は「森林の町」で、面積の多くを森林が占めています。

この、森林を活用した「まちづくり」を進めている岡山県西栗倉村を視

察しました。

西栗倉村では、村内から出る木を使って、公共施設を「コンクリートから木造」へ転換すると共に、民間企業と協力して「家具づくり」「家づくり」を進めています。

木製複合遊具（末広公園）

**問**

過疎地域に雇用の創出と  
若者定住対策を

**答**

多くの声・アイデアを  
共有し事業を進めたい

家具づくりのための技術修得の手段として、木製遊具を保育所や公園に整備することで、企業を後押しし、人材育成に努めています。しかも、この事業展開の「柱」は、

大阪・東京の若者を村に移住・定着させる「若者定住」であり、3年間で45人が移住しています。

白滝地域の過疎化に歯止めをかけるために、地場産材を活用した「雇用の場の創出と若者定住対策」を取り組むことも、必要な事業の一つだと思いますが町長の考えは。

**答**

本町も、4町村の

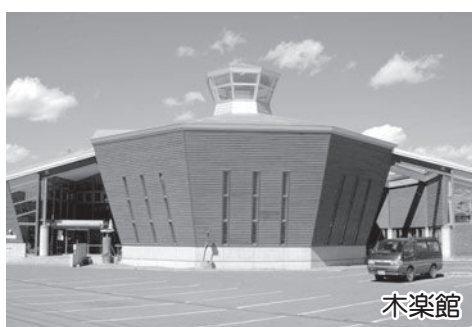
合併で「過疎地域」に指定されたことから「遠軽町過疎地域自立促進市町村計画」を策定し、過疎対策を実施してきました。

森林を生かした「まちづくり」については、総面積の約9割が森林である本町において、農業と並ぶ基幹産業として発展してきたが、近年の生産コスト増、労働力の減少と高齢化等で厳しい現状にあります。

しかし、本町の公営住宅や教員住宅の建て替え時には木造住宅の導入に力を入れており、今後その方針で進めていきます。

と考えています。

本町には「ちゃちゃワールド」や「木芸館」「木楽館」という「木」を生かす施設もあることから、連携して町全体のまちづくりを進めるため、多くの声、アイデア・意見を基に検討・研究していきます。



木楽館



# ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

## 一般質問

高橋眞千子 議員



**問** 緊急医療情報キット

トは、かかりつけ医師や持病などの医療情報・診察券、緊急時の連絡先・保険証の写しなどをプラスチックの筒に入れて冷蔵庫で保管するものです。

緊急時に駆けつけた、

救急隊員が患者の情報を正確に把握し迅速かつ適切に対応できることから多くの市町村がとりこんでいます。

高齢化が進むことを考えますと早急に取りくむ事業と思いますが町長の考えを伺います。

**答**

阪神・淡路大震災を契機に緊急医療情報キット、通称「命のバトン」と言われ、今日に至った

ものです。

自身の医療情報や緊急時の連絡先など、緊急時に伝えられない時に、カード情報を元に、適切に救護できることをめざすものです。

保管場所を冷蔵庫とし

たのは、どこの家庭にもあり、駆け付けた救急隊が見つけやすいということからです。

個人情報や本人が必要として記入し保管するものであり、行政が強制することはできません。

現在、自治会や自治連合会で取り組んでいる地域も

**問**

高齢者の安心に緊急医療  
情報キットの普及を

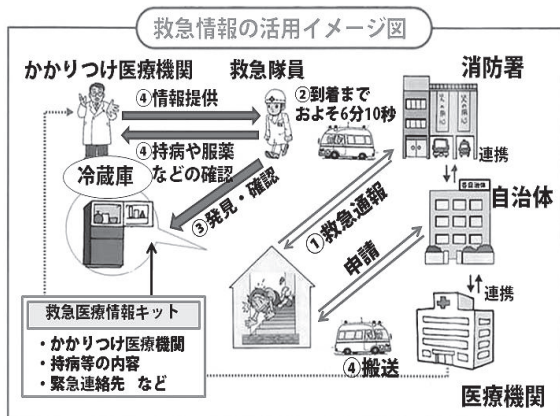
**答**

自治会・連合会の自主的な  
取りくみを尊重する

あり、自主的な取組を尊重したいと考えています。

町の方でキットを用意して必要な人に購入していただくことは、課題もありますので検討させていただきます。

緊急医療情報キットを多くの町民の皆さんに知



**問**

どうする使用料  
滞納金の徴収

**答** 滞納対策・滞納整理  
に取り組んでいます

**問**

水道料・下水道料  
住宅使用料は利用した人だけが受ける受益です。

財政健全化に向けて取り組んでいます。使用料金の滞納は大きな額を占めています。

道外視察で同じように財政が厳しい町で勉強させていただきました。

ライフラインと言われる水道であっても、2カ月滞納で給水停止すると話されていました。

状況の考慮は必要ですが、各使用料の滞納者を増やさないためにも思いきった取組を考えるべきでは。

**答**

滞納整理については、給水停止もひとつの手段として取り組んでいます。

給水停止に至るまでには諸手続きの他、電話や訪問などの対応をし、納入誓約不履行など、明らかに約束したが誠意がないと思われる人に対してはい、今年度は17件を給水停止としています。

住宅料につきましても支払い困難な方には、分納や減免の相談に応じています。滞納数カ月で保証人の方に連絡することにつきましては、研究課題とさせていただきます。受益者が本来負担すべき費用であり、負担の公平確保の観点から今後とも滞納対策、滞納整理に取り組みます。

## ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

## 一般質問

阿部 君枝 議員



おむつ替えスペース  
どこにどれだけ

問 「赤ちゃんの駅」

は、公共施設など気軽に立ち寄り、おむつ替えや授乳できるスペースが確保されている施設で、全国の自治体で広がっています。

赤ちゃんを抱え、おむつ替えや授乳に不安なく外出したい、そんな思いに応えようとするものです。

「赤ちゃんの駅」は、東京都板橋区が職員のアイデアを採用して2006年から始めました。

福岡県では、北九州市

問

町公共施設に授乳室を

答

常設については検討する

答

遠軽地域では、げんき21・虹のひろば・図書館・温水プール・太陽の丘の5カ所、生田原地域では、ちゃちゃワールド内2カ所・ホテルノー

地域では、支所・国際交流センター・活性化施設の3カ所、合計15カ所に設置しています。

問

現在おむつ替え等の配置をされている、町の公共施設をどのように町民に周知していますか。

答

各施設の、トイレ入口付近に表示しています。

問

町の公共施設でのおむつ替えおよび授乳スペースの確保をすべきです。

答

必要性は理解しています。現在、ちゃちゃ

ワールド内に1カ所、虹のひろばに1カ所、授乳スペースがあります。しかし、常設のおむつ替えおよび授乳スペースの確保は施設のスペースから、かなり難しいと思われる。

設置可能な施設に関しては今後、検討していきます。また、必要に応じてこれまで同様に、臨時的に確保していきます。

これから建設するような施設については、スペースの配慮をしていきます。

再質

げんき21に設置できませんか。

答

急ぎよ検討した結果、専用にはならないかもしれませんが、相談室に、授乳室「使用可」「使用不可」および、玄関に「授乳室あります」というような表示をし、利用してもらいます。



おむつ替スペース（丸瀬布生涯学習館）

スキング・図書館の4カ所、丸瀬布地域、生涯学習館・昆虫生態館・トイレ333の3カ所、白滝

# ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

## 一般質問

黒坂 貴行 議員



### 問

清掃センター焼却施設、  
旭野最終処分場の今後の対策は

### 答

焼却施設の機能検査を実施し  
改修か更新を検討します

### 問

清掃センター機能検査委託費を新年度予算に計上し、その検査内容を十分精査した上で、今後の対応を検討していききたいと担当課から報告がありました。

委託業務の内容は現有施設の機能の把握、延命化計画、改築計画についての調査・計画であります。

これまでの定期点検と計画的修繕で対応してきた経緯から、現在の状況把握はどの認識しているのか、機能検査を新年度予算づけする考えはあります。

また、18年度から稼働

### 問

している旭野一般廃棄物最終処分場は、15年間の使用計画でしたが、すでに半分程度ゴミが埋まっていると聞いています。

要因はどこにあるのか、現状をどう認識しているのか、対策を検討しています。

### 答

現在、焼却施設の状況を示す分析結果など資料はありません。推測の範囲内ではありますが、消耗部品の交換などの計画修繕、定期点検では

多くの間は使用していただけるものと認識しています。

また、機能検査に係る経費は23年度予算の中に

組み込んで行こうと考えています。

当初計画以上にゴミが埋まっている旭野一般廃棄物最終処分場のひとつの要因として、「資源化できないプラスチック」の搬入があります。これは高温焼却炉では焼却処分できませんが現在の遠軽町の施設では焼却できないためです。

将来、ゴミ焼却施設を更新する場合には、想定されるあらゆることへの対策を組み入れた、総合的なゴミ行政について関係する2町とも十分連携を取りながら計画化するとともに、最終処分場に

すでに埋められたゴミの中で、焼却処分できるゴミを焼却することにより

当初計画の実現を図っていきたいと考えています。

### 再問

焼却施設を更新し、運転開始までにはおよそ5年間を要します。

その間、修繕しながら現施設を使用していくことになります。

ゴミの問題は全町民の生活に直接関係することです。将来、10年後、20年後の

遠軽町ゴミ行政を総合的にどのように取り組んでいきますか。

### 答

焼却施設については、ゴミ行政の重要問題として、機能検査の結果に基づき、将来の運営形態も含め、3町で協議し検討します。

同様に、旭野処分場も重要な問題と認識し、見直しについては早急に取り組んでいきます。



改修か更新かの判断が待たれる遠軽町清掃センター